

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、食料・飲料卸売業で大きく悪化傾向を弱め、建築材料卸売業ではわずかに悪化傾向を弱めました。紙・紙製品卸売業は横ばいとなりました。一方、農畜産物・水産物卸売業で大きく悪化傾向を強め、機械器具卸売業、その他卸売業で悪化傾向を強めたため、全体としては-70と前期比11ポイント悪化傾向が強まりました。売上額は17ポイント、収益は1ポイントわずかに減少傾向を弱めました。価格面では、販売価格は10ポイント、仕入価格も7ポイント下降傾向を弱めました。在庫は12ポイント過剰感を強め、資金繰りは9ポイント窮屈感が弱まりました。残業時間は1ポイントわずかに減少傾向を弱め、人手は16ポイント過剰感が強まりました。設備の状況は6ポイント不足が弱まり、設備投資の実施は事業用土地、車両を中心に21%と前期比3ポイント減少しました。

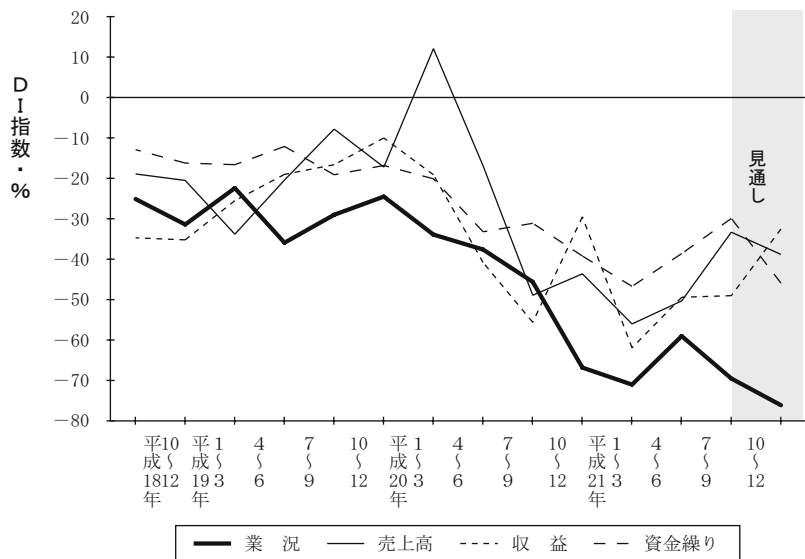
来期の見通し

業況は、農畜産物・水産物卸売業で悪化傾向を弱め、紙・紙製品卸売業では横ばいとなるとみています。一方、食料・飲料卸売業、建築材料卸売業で大きく悪化傾向が強まり、機械器具卸売業、その他卸売業では悪化傾向を強めるとみており、全体としては-76と今期と比べて6ポイント悪化傾向が強まりそうです。売上額は6ポイント減少傾向を強め、収益は16ポイント減少傾向を弱めそうです。価格面では、販売価格、仕入価格はともに上昇傾向に転じるとみています。在庫は過剰感から若干不足に転じるとみています。資金繰りは16ポイント窮屈感が強まりそうです。残業時間は17ポイント減少傾向を弱め、人手は2ポイント過剰感が弱まるとみています。設備の状況は横ばいになりそうです。設備投資については機械設備の新・増設、車両で8%の先が実施予定しており、今期に比べて13ポイント減少するとみています。

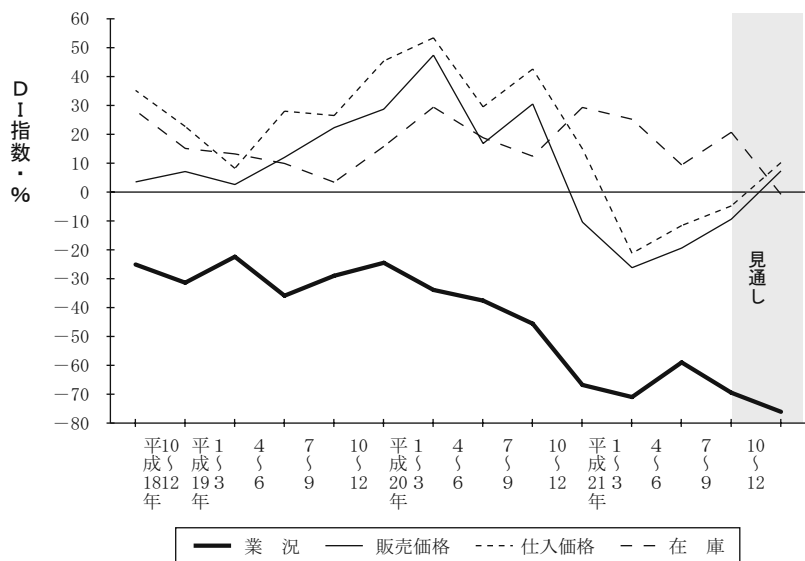
調査員のコメント

- 市場全体が低迷する中、前年比100%超の売上実績を上げ好調である。経費節減に努め粗利確保を図る。(青果物卸売業)
- 業界全般で動きが悪くなっており、売上が減少。エコキュート等時代にあった商品への取組みを始めている。(電材卸売業)

景況の推移

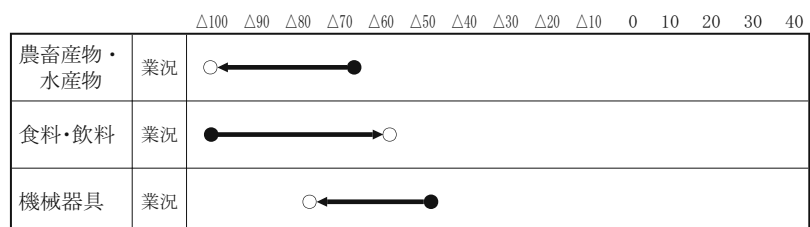


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期(21年7月~9月) / 前期(21年4月~6月)



経営上の課題点	順位	内容	社数 (%)
経営上の課題点	1位	売上の停滞・減少(1)	19社 (79%)
	2位	同業者間の競争の激化	11社 (46%)
	3位	利幅の縮小(3)	10社 (42%)

当面の重点経営施策	順位	内容	社数 (%)
当面の重点経営施策	1位	経費を節減する	18社 (75%)
	2位	販路を広げる	15社 (63%)
	3位	情報力を強化する	7社 (29%)

*()は前回順位 * 対象企業総数は24社